

..... 編集後記

◆ 日本海側の各地で記録的な豪雪となっている厳しい冬ですが、どうやら豪雪もピークを越えつつあるようです。春を待ちわびる今日この頃ですが、読者の皆さんの地域ではいかがでしょうか？

◆ 今月の地質ニュースは、「地質標本館創立25周年記念イベントおよび子どもと自然学会つくば大会」の特集号となりました。旧地質調査所のつくばへの移転と共に開設された地質標本館も25才になったんですね。

◆ 表紙と口絵には標本館の所蔵品から「奇妙な花崗岩」と「石の工芸品」・「アスベスト関係」の標本を、また口絵には標本館が行った地質写真コンテストの入選作品を紹介させていただきました。

◆ 「地質標本館創立25周年記念事業」については、まず、その概要や意義について、青木標本館長にお書きいただきました。記念の事業個々については、吉田氏が、館内で行われた体験イベントを紹介してくださいました。小学生の生き生きとした姿が印象的です。井川・利光氏が化石のレプリカ作りを紹介されました。田中氏他の皆さんは、標本館から霞ヶ浦や北浦周辺の地層を観察して大竹海岸まで訪ねた野外観察会の様子を、この地域の地質の基礎知識と共に紹介されました。

◆ 後半は2005年秋につくば市と隣接地で行われた「子どもと自然学会」の大会の紹介。まず、この学会について岩田氏が、大会の概要を玉生氏が解説し

て下さいました。この大会の「企画セッション1」で標本館が行った「石割体験」(西岡氏)・「化石レプリカ」(井川・利光氏)・「砂を使った実験」(兼子氏他)の様子がそれぞれ担当者から紹介されました。次に「企画セッション2」で行われた野外観察会について企画者と参加者の意見や感想・討論の様子が紹介されています。これらがこのような会を一層楽しくしていく原動力となるのでしょうか(利光氏、中島氏他、利光氏他)。次に「一般発表」では教育現場での実践やアンケートによる意識調査など、科学に対する心を次の世代の人たちどう伝えていくか、興味深い報告が5件も紹介されました(目代氏、奥山・宮嶋氏、青木氏、玉生氏、森尻・中井氏)。そしてこの大会に参加された多くの「子どもと自然学会」会員の方の感想が紹介されています(谷田部氏他)。

◆ 巻末には、口絵で入選作が紹介された「第3回写真コンテスト」の概要(谷田部氏)、同じく口絵で紹介された「石の工芸品」が薄片制作の技術で作られたこと(地質標本館)、表紙写真となった花崗岩標本の展示台作成の裏話(吉川氏)も紹介されています。

◆ 賑やかな話題に富む号となったのではないでしょう。読者の皆さんの標本館への意見や要望もお寄せ下さい。実現してもらえるかも知れません。では、次号をお楽しみに！

(須藤定久)

地質ニュース編集委員会

委員長：須藤定久

副委員長：吉田朋弘

委員：高木哲一・丸山 正・高橋裕平・
光畑裕司・七山 太

連絡先：地質調査総合センター

地質ニュース編集委員会事務局

〒305-8567 茨城県つくば市東1-1-1

Tel. 029-861-3754

Fax. 029-861-3746

地質ニュース	第618号	2006年	2月号
	定価 ¥785 (本体価格 ¥748) 千実費		
	2006年2月1日 発行		
編集	産業技術総合研究所		
発行人	株式会社 実業公報社		
	代表者 林 光生		
発行所	株式会社 実業公報社		
	東京都千代田区九段北1の7の8 〒102-0073		
	Tel. (03) 3265-0951 Fax. (03) 3265-0952		
	http://www.jitsugyo-koho.co.jp		
	E-mail: jk@jitsugyo-koho.co.jp		
	振替口座 00110-6-32466		
	麹町局私書箱第21号		

© 2006 Geological Survey of Japan

●本誌は東京都の霞ヶ関政府刊行物サービスセンターに常備してあります。また、最寄りの書店でも注文できます。

地質ニュースに関するご意見は編集委員会へ